

## こどもの感染症シリーズ④

### RSウイルス感染症ってなに？

RSウイルスの「R」は、「respiratory」の略で「呼吸の」を意味しています。ですので、その名の通りRSウイルス感染症は、呼吸器の感染症です。

RSウイルスは日本を含め世界中に分布しています。

生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

年齢を問わず、一生のうちに何度も感染を起こしますが、特に乳幼児期において非常に重要な感染症であり、母体からの移行抗体（胎盤を通じて母親から赤ちゃんに与えられる免疫のこと）があるにもかかわらず、生後数週から数カ月の期間にもっとも重い症状を引き起こす可能性があります。

また、低出生体重児（以前は未熟児と言われていました）や、心臓や肺に基礎疾患のある方、免疫不全のある方は重症化のリスクが高くなります。

日本では、基本的に11～1月にかけての流行が報告されていますが、2021年は7月にピークを迎えています。ですので、一年中感染する可能性があります。

新型コロナウイルス感染症と同様、5類感染症に分類されます。



### 症状は？

鼻水、発熱、せきなど一般的なかぜの症状から細気管支（肺の中の気管支が細かく枝分かれした部分）炎や肺炎に至るまで様々です。成人も感染しますが、通常は軽いかぜの症状でおさまることがほとんどです。

赤ちゃんが生まれて、生後一年間の内に69%の乳児が感染します。そのうちの1/3が細気管支炎や肺炎を起こすと報告されています。2年目から4年目においても細気管支炎や肺炎を起こす比率は20%を超えていて、少ないものではありませんが、その重症度は年齢を追う毎に低くなります。また1歳以下では、中耳炎の合併する場合がよくみられます。生後4週未満では感染の頻度は低いですが、感染したときには呼吸器の症状がないことが多く、診断の遅れにつながる可能性があります。この年齢では、無呼吸が起きやすいことも報告されており、注意が必要です。

潜伏期間（感染しても症状の出ない期間）は2～8日とされています。

39℃前後の発熱、鼻汁などの症状が数日続き、その後細気管支炎や肺炎の症状が出てきます。咳も出ますが、持続したり、ひどくなっていく咳は、細気管支炎や肺炎へ進む可能性があります。特に細気管支炎では喘鳴（ゼイゼイいう）、陥没呼吸（呼吸のたびに胸がペコペコ凹む）や息苦しさが見られます。通常は、発症してから7～12日で回復します。



## 感染経路は？

咳やくしゃみ、又は会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込む飛まつ感染や、感染している人との直接の濃厚接触や、ウイルスがついている手指や物品（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、椅子、おもちゃ、コップ等）を触ったり又はなめたりすることによる接触感染で感染します。

## 検査方法は？

鼻の粘膜を綿棒でぬぐい取り、検査します。（1歳未満まで保険適応、1歳以上は保険適応外になります。）

## 消毒方法や予防方法は？

アルコールは効果的とされています。そのため、ドアノブ、手すり、おもちゃなど手に触れるものはアルコールや次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

小さい子どもさんはマスクできませんが、成人がマスクすることは有効です。また、RSウイルスが流行しているときは、乳幼児（特に6か月未満）を連れて外出されるときは、人ごみを避ける方がいいでしょう。咳をされている方（こども含む）との接触もできるだけ避ける方がいいでしょう。



## 治療法は？

彦根休日急病診療所通信V○1.1で紹介した「かぜには抗生物質（抗菌薬）は効かない？」に書いた通り、ウイルス性の感染症のため、「抗生物質（抗菌薬）」は効きません。特別な治療法はなく、症状を軽くする対症療法や呼吸困難を助ける治療しかありません。息苦しさが強く哺乳ができなかったり夜眠れない場合は入院になります。そうした場合は、点滴で水分補給をし、息苦しさの程度で酸素投与や人工呼吸器で対応します。

## ワクチンはありますか？

令和5年8月28日厚生労働省の専門部会は、海外メーカーが開発した60歳以上向けワクチンの製造販売承認を了承しました。厚労省担当者は「準備が整えば速やかに承認する」と説明しています。国内初のRSウイルス感染症ワクチンとなります。ですので、対象者は60歳以上の高齢者となります。

その他の方法として、抗体を筋肉注射する方法があります。RSウイルス感染症の流行初期に投与し始めて流行期も引き続き1か月毎に筋肉注射することで、細気管支炎や肺炎にかからないようにすることが期待できます。ただし、投与対象患者が限られています。

投与対象者となっているのは以下の方です。

- ・在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・在胎期間29～35週の早産で、6カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・過去6カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児
- ・24カ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児

## 学校は休むの？

特に定められた出席停止期間（保育園を何日間休ませなければならないという決まり）はありません。かぜと同様、せきなどの症状がなくなり普段どおり元気であれば、園と相談し登園させることができます。

### （参考）

日本小児科学会 RS ウイルス感染症の現状と注意事項について

[https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\\_id=456](https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=456)

国立感染症研究所 RS ウイルス感染症とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/317-rs-intro.html>

厚生労働省 RS ウイルス感染症 Q&A（平成 26 年 12 月 26 日）

[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

国立感染症研究所 IDWR2013 年第 36 号<注目すべき感染症>RS ウイルス感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-idwrc/3972-idwrc-1336-01.html>